

競 技 注 意 事 項

本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

1. 開門時刻 4月23日(土) 6時30分 4月24日(日) 6時30分
2. 練習について

- (1) 本競技場での練習は、競技役員の手指示に従い両日とも8時30分までとする。
- (2) 競技場内での練習レーンは、下表の通りとする。但し、第4コーナーでのリレー練習は禁止する。事故防止のため逆走は禁止する。ハードルは決められたレーン以外には設置しないこと。

ホームストレート側		バックストレート側	
1・2レーン	周回レーン	1・2レーン	周回レーン
3・4レーン	流し、ダッシュ	3～9レーン	流し、ダッシュ、リレー
5～7レーン	スタートダッシュ		
8レーン	女子ハードル		
9レーン	男子ハードル		

- (3) 雨天走路の使用は禁止する。但し、YOSHIOKA スプリント出場者が雨天時にのみ使用することがある。
 - (4) 8時30分以降の練習は、補助競技場で行うこと。
 - (5) 投てきの練習会場は設けない。したがって、投てき種目の練習は、競技開始前の公式練習のみとする。
 - (6) 本競技場及び補助競技場には、練習（ウォーミングアップ、クールダウン）以外の目的では入らない。
3. 招集について

- (1) 招集所は、スタンド下北側器具庫前及び器具庫内に設ける。
- (2) 招集については下記の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始30分前	競技開始15分前	棒高跳	競技開始50分前	競技開始40分前
跳躍	競技開始40分前	競技開始30分前	投てき	競技開始40分前	競技開始30分前

- (3) 選手は、当該種目の招集開始時刻がきたら、選手招集所に用意された出場選手一覧表に、選手または代理人が自分の番号を○で囲む。
 - (4) 選手は招集完了5分前に招集所に集合し、最終点呼を受ける。その際、競技役員にアスリートビブスの番号と競技用靴、およびアスリートキット等の商標の確認を受けた後、競技役員の手誘導で競技場へ入る。
 - (5) 2種目以上（トラック競技とフィールド競技）を同時刻に兼ねて出場する選手は、あらかじめその旨を、本人または代理人が招集に出られない種目の招集完了時刻前に、競技者係に申し出なければならない。
 - (6) 招集完了時刻に遅れた選手は、当該種目を棄権したものと見なして処理する。
4. 競技用靴に関する規程について（小学生には適用しない。）

- (1) 靴底の厚さは、フィールド種目：最大20mm（三段跳は25mm）、800m未満のトラック種目：最大20mm、800m以上のトラック種目：最大25mmとする。
- (2) 選手はWA承認済み競技用靴リスト記載の競技用靴を着用すること。規定違反の疑義がある場合、審判長の権限のもと、競技終了後も含めいつでもチェックや回収をすることがあり、対象者は指示に従わなければならない。

5. 競技場への入退場について

- (1) 入退場は、競技役員の手指示に従って整然と行う。
- (2) 競技を行う選手以外は、トラック・フィールド内に立ち入ってはならない。

6. 競技について

- (1) スタートについては、不正スタート1回で失格とする。ただし、小学生については、1人が2回の不正スタートを行った時に失格とする。

YOSHIOKA スプリントについては、次に示すTR16.5のルールを適用する。

「On your marks」または「Set」の合図で、競技者は、一斉にそして遅れることなく完全な最終スタート姿勢を

とらなければならない。競技者が下記の行為をしたと判断した場合、審判長はCR18.5 および TR7.2 に従い不適切行為があったとして当該競技者に対して警告を与えることができる。(2度の規則違反があった場合は失格となる。)

(a) 「On your marks」または「Set」の合図の後で、信号機発射の前に正当な理由もなく手を挙げたり、クラウチングの姿勢から立ち上がった場合(理由の正当性は審判長によって判断される。)

(b) 「On your marks」または「Set」の合図に従わない、あるいは遅れることなく速やかに最終の用意の位置につかなかつたとスターターが判断したとき。

(c) 「On your marks」または「Set」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者の妨害をしたとき。
YOSHIOKA スプリント以外の種目については、不適切行為は注意にとどめる。但し、不適切行為が繰り返し行われたり、悪質なものは、警告を与えたり、当該競技から除外することもある。

(2) セパレートレーンにおいては、決勝線通過後も自分のレーン(曲走路)を走り、他走者の妨害をしないこと。

(3) スパイクシューズのピンは、全天候舗装のトラックであるので、9mm以下とする。但し、走高跳は12mm以下の平行ピンとする。

(4) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、主催者にて決定する。

(5) 走高跳および棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

一般・高校	走高跳	男子	1m60-1m65-1m70-1m75-1m80-1m85	以後3cmずつ上げる
		女子	1m25-1m30-1m35-1m40-1m45	以後3cmずつ上げる
	棒高跳	男子	3m00-3m20-3m40-3m60	以後10cmずつ上げる
		女子	2m00-2m20-2m40-2m60	以後10cmずつ上げる
中学	走高跳	男子	1m35-1m40-1m45-1m50-1m55-1m60	以後3cmずつ上げる
		女子	1m20-1m25-1m30-1m35-1m40	以後3cmずつ上げる
	棒高跳	男子	2m20-2m40-2m60-2m80-3m00	以後10cmずつ上げる

(6) 走高跳および棒高跳では、1位を決定するためのジャンプオフを実施する。

(7) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの招集完了時刻の1時間前までに、所定の用紙に記入の上、競技者係に2部提出する。なお、オーダー用紙は、招集所に用意してある。

7. 表彰について

(1) YOSHIOKA スプリント出場者の中から最優秀選手賞(MVP)を選出し、賞金(5万円)と賞品及び盾を授与する。また、最優秀選手賞(MVP)受賞者が出場した種目以外の各種目の優勝者に賞金(3万円)を授与する。

(2) YOSHIOKA リレーチャンピオンズカップの優勝チームに楯を授与する。

(3) GP 種目以外の各種目1位~3位までを表彰する。また、優勝者にはメダルを授与する。

(4) (1)及び(2)については、表彰式を実施する。表彰式に参加する競技者は、上下トレーニングウェア(または上はTシャツ、下はズボン)を着用したうえで、競技場正面玄関ロビーに集合すること。

※アスリートビブスは、ユニフォームからトレーニングウェアに付け替えること。(胸部のみ)

(5) (3)に示す表彰(YOSHIOKA リレーチャンピオンズカップの優勝チームを除く)については、競技場正面玄関ロビーにて、賞状及びメダルを渡すのみとする。

8. 広告規程について

2022年度日本陸上競技連盟競技規則「競技会における広告および展示物に関する規程」を適用する。

9. 競技場内で着用できる衣類と持ち込むことができる物品について

競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については次の様になっているので、事前に確認しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。

<アスリートキット>

(1) 競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット

○上衣 下衣 [それぞれ] *スポンサー名/ロゴは上下全く同じものでなければならない。

・製造会社名/ロゴ: 1つ/一箇所 40cm²(高さ5cm) まで

- ・スポンサー名/ロゴ：1つ/一箇所 40 cm² (高さ5 cm) まで
 - ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ：
 - [所属団体名/ロゴ]
 - 上衣 前後 各一箇所 *長さは問わないが、高さは前：5 cm、後：4 cmまで
 - 下衣 一箇所 *長さは問わないが、高さは5 cmまで
 - [学校名/ロゴ]
 - 上衣・下衣 大きさの規制なし
- (2) 競技者が着用するあらゆるその他のアパレル (靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラス etc)
- ・製造会社名/ロゴ：1つ/一箇所 6 cm² (高さ3 cm) まで
 - *メガネおよびサングラスについては、製造会社名/ロゴを二箇所掲出できる。
 - ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ：1つ/一箇所
 - [所属団体名/ロゴ] 6 cm² まで
 - [学校名/ロゴ] 大きさの規制なし
- <個人の所有物およびアクセサリ>
- (1) タオル バッグ
- ・製造会社名/ロゴ：1つ/一箇所 40 cm² (高さ5 cm) まで
 - ・スポンサー名/ロゴ または競技者名/競技者個人のハッシュタグ：
 - 2つ/二箇所 それぞれ40 cm² (高さ5 cm) まで
 - *バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち1つ/一箇所を、以下のいずれかに変更できる。
 - 所属団体名/ロゴ、学校名/ロゴ：一箇所
 - [所属団体名/ロゴ] 長さは問わないが高さは5 cmまで
 - [学校名/ロゴ] 大きさの規制なし
- (2) 飲料ボトル
- ・ドリンクの提供者、製造会社、および (または) アスリートスポンサー名/ロゴ：
 - 2つ/二箇所 それぞれ 40 cm² (高さ5 cm) まで
 - *ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。
10. 個人情報取り扱いについて及び肖像利用に関して
前述の要項参照
11. ドーピングコントロールについて
前述の要項参照
12. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について
『日本グランプリシリーズ 出雲大会 吉岡隆徳記念第 76 回出雲陸上競技大会の開催について【新型コロナウイルス感染症対策】』を熟読し、それに従って大会に参加すること。
13. その他
- (1) 発病、負傷に対しては、応急処置のみ行う。医務室は、競技場1階南側の更衣室に設ける。
 - (2) 貴重品の管理は各人で行うこと。主催者は紛失の責任を負わない。
 - (3) ID カードの種類による入場規制を厳守すること。
- ※11. については、YOSHIOKA スプリント出場者のみに適用する。